

はじめに

日本では年々、人口の減少がつづいています。この人口減少によって、すでに社会のさまざまな場面で問題が起こっていて、これからも多くの問題が引き起こされるといわれています。

例えば、人口が減ると働く人が減ります。働く人が減ると、多くの業種で人手不足になります。人手不足になると、会社などは活動できなくなり、経済は低迷してしまうかもしれません。社会にとって人口減少はいいことがない、と悲観的に報道されることもあります。

こうした人口減少にもとづく未来予測は、人口統計データをもとにしたシミュレーションです。現在では、国や自治体、企業などが、人口減少の問題に對して、さまざまな取り組みをはじめています。そうした取り組みや時代の変化によって、人口減少のスピードがゆるやかになったり、止まったりする可能性があります。また、人口が減少していくなかでも、技術の進歩や社会の仕組みを変えることで、暮らしを豊かにする方法も考えられています。

まずは、この本で日本の現状を知り、未来のために、日本社会がかかえる人口減少の問題をみんなで考えていきましょう。

おもな登場人物



リク



リクの母



ミサキ



ミサキの弟



ミサキの母

もくじ

日本の未来が危ない!? 人口減少社会

1 学校がどんどん遠くなる!? ほか

はじめに

人口が減っているって本当?	6
友だちの数が減った!?	10
学校がどんどん遠くなる!?	12
学校の先生の数が減っているって本当?	14
部活動は他校と合同で!?	16
通学路に空き家が増える!?	18
みんなが大学に入れる時代になる!?	20
人手不足でバイト代が上がる!?	22
外国人の店員さんが増えている	24
ネットで注文した商品が届かない!	26
大学を卒業したら、みんな東京に!?	28
未来のための選択 コンパクトシティってなに?	30

さくいん

※本書に掲載されているデータや情報は、原稿執筆時のもので、現状と一致しない場合があります。

リク・ミサキの友人たち



高校の先生たち



バイト先の人たち

人口が減っているって本当？

日本の人口はどうなっているの？

日本の人口は、江戸時代の後半が3000万人くらいで、長らく安定していました。その後、明治時代に入って急激に増え、平成にかけて、ずっと増えつづけてきました。特に、第二次世界大戦後の1947年から1949年に起こった「第一次ベビーブーム」では、毎年約270万人が生まれ、このころに生まれた人びとは「団塊の世代」と呼ばれました。また、この世代が大人になり、子どもをもったことで起こった1971年から1974年にかけての「第二次ベビーブー

日本の人口の推移(単位:万人)



※一部推計をふくむ。1945~65年は沖縄県をのぞく
1945~2022年は各年10月1日現在。2023、2024年は各年3月1日現在

(国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」などより作成)
出典: 鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」(講談社)、総務省統計局「国勢調査報告」「人口推計」など

ム」では、毎年約200万人が生まれ、この世代は「団塊ジュニア」と呼ばれました。しかし、2008年の1億2808万人をピークに人口が減少しはじめます。2024年3月1日現在、日本の人口は1億2400万人で、16年のあいだに、400万人以上減りました。2023年の同じ時期とくらべても、約57万人減っていて、鳥取県の人口(2024年3月1日現在で約54万人)以上が、1年間で減ったことになります。

※団塊: 大きなかたまりを意味することば

この先、人口はどれだけ減るの？

このペースで人口が減りつづけると、この先、日本の人口はどうなってしまうのでしょうか？

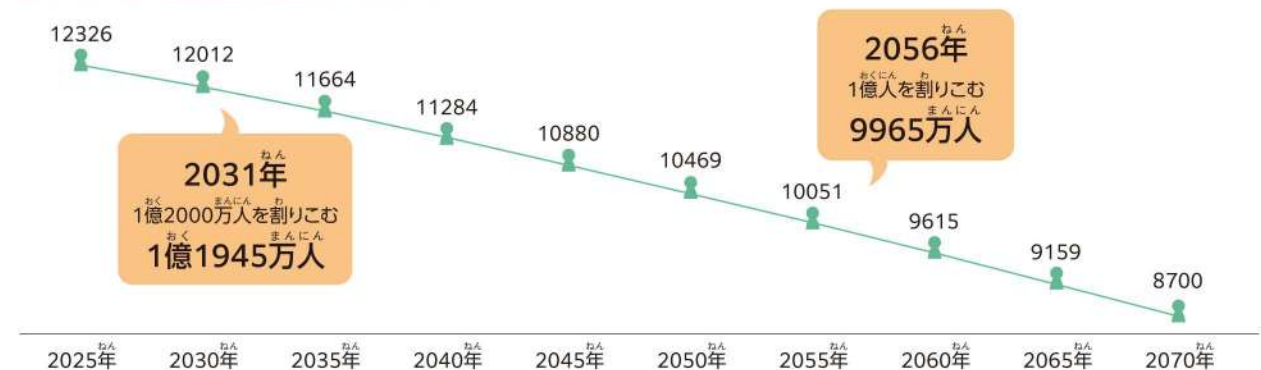
厚生労働省の機関である、国立社会保障・人口問題研究所が2023年に行った将来推計によると、2031年には1億2000万人を割りこみ、2056年には1億人を割りこむとされています。

この推計では、この先の合計特殊出生率(9ページ)や死亡率の見通しのちがいによ

て、いくつかのこととなる推計を行っています。また、将来のことはあくまでも推計なので、必ずこうなるとは限りません。出生率が上がったり、医療が発達して亡くなる人が減ったりして、推計結果より人口が増えることも十分に考えられるのです。

しかし、今のまま、特に人口を増やす対策をとらないでいると、人口が減ることはあっても、増える可能性はほとんどないのが現実です。

日本の将来推計人口(単位:万人)



※将来の出生、死亡の数値について、

それぞれ高位・中位・低位の3つに仮定し、そのうち中位の値を使って推計したもの

(国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)結果の概要」より作成)

人口増加の時代背景

人口の増加には、その時代ならではの理由があります。例えば、明治時代に人口が急増していった背景には、技術の進歩による農業生産力の増大や工

業化、医療の発達などで、国民の生活水準が上がったため、出産数が増え、寿命が伸びたことがあると考えられています。

がっこう 学校がどんどん とお 遠くなる!?



がっこう とうはいごう すす 学校の統廃合が進む

2023年4月1日時点の日本における15歳未満の人口は約1435万人で、40年以上減りつづけています。

子どもの数が減ると、学校の運営にも影響が出ます。先生の数も減っているため(15ページ)、学校が維持できなくなっていくのです。そこで、学校をなくしたり、いくつかの学校を合わせて一つにしたりする「統

廃合」が進んでいます。2010年度からの11年間で、公立の小学校・中学校・高校合わせて約5000校が廃校になりました。

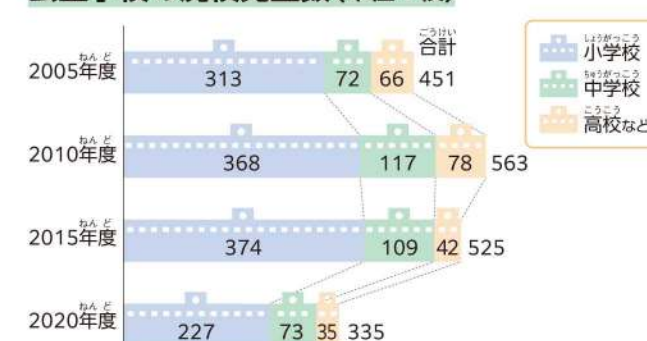
そうすると、これまで家から学校まで歩いて数分だったのが、数十分かかるようになり、自転車やバスを使ったり、保護者に車で送り迎えをしてもらったりする人たちがもっと増えるでしょう。

15歳未満人口と学校数の推移



※学校数は国公立の小・中・高の数
 (総務省統計局「国勢調査」人口推計、文部科学省「文部科学統計要覧」学校基本調査より作成)

公立学校の廃校発生数(単位:校)



(文部科学省「令和3年度公立小中学校等における廃校施設及び余裕教室の活用状況について」より作成)

がっこう とうはいごう とも 学校の統廃合で友だちが増える!?

学校の統廃合は、悪いことばかりではありません。1学校あたりの人数が増えることで、友だちが増えたり、集団遊びや部活動が可能になったりします。また、クラスがえができれば、人間関係も固定されにくくなります。多くの人とコミュニケーション

ンを取ることで、多様な意見や考えにふれる機会も増えるでしょう。

また、スクールバスの導入や道路の整備、校舎の新築・改築に国や自治体が補助金を出すなどして、統廃合による問題を解決する取り組みを進めています。